

令和7年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和7年度一般会計予算は、合併以降最大の603億4千万円となり「華のある都市 古河」の実現への積極性が感じられる。にぎわいの創出、地域経済・雇用の創出、移住・定住の促進、子育て支援の施策は評価できる。当会派では、未来産業用地開発事業（東山田・谷貝地区）の推進と早期実現を望む。

佐藤 泉 小森谷博之 鈴木 務
小林登美子 印出 慎也 赤坂 育男
鈴木 隆

古河市公明党

令和7年度予算は、給食費無償化の継続や、骨粗しょう症検査、スクールロイヤー制度および電子図書館の導入など、当会派の政策提案も盛り込まれ、市民生活の安心、安全を見据えた新年度予算を評価する。また、SDGs理念を基に、地域経済の活性化や移住・定住の促進など、本市の持続可能な施策推進に期待する。

高橋 秀彰 佐藤 稔
轟見久美子 佐々木英徳

市民ベースの会

新年度は「教育・福祉の充実」、「都市基盤の充実」、「産業の育成」、3つの重点政策を掲げ、一般会計603億4千万円、前年度対比10.8%増の合併以降過去最大の予算規模である。先進技術を積極的に取り入れ、GX、DXをはじめ「SDGs未来都市」として、持続可能な開発と諸法令を遵守した予算執行を期待する。

増田 悟 落合 康之
阿久津佳子 立川 徹

真政会

令和7年度一般会計予算は、603億円を超える予算となった。特に本年は、合併20周年を迎える節目の年であることから「華のある都市 古河」の実現に向け、重点施策に沿った予算編成になっている。今後も、市民の皆さまが希望の持てる古河市を創れるよう、住民福祉の向上に期待するところである。

黒川 輝男 園部 増治
青木 和夫 稲葉 貴大
齊藤由美子 渡邊 澄夫

会派に属さない議員

花火大会等のイベントは、集客力もあり華やかだが、一過性のもので、見せかけ感もある。通学路の安全確保等、安全安心なまちづくりの優先が、真に市の発展につながると考え、反対。

公共施設の老朽化対策、教育環境の整備、新たなまちづくり拠点の創出、事業承継など地域活性化を目指している点は評価できる。社会保障費が増大する中、歳出改革は必要である。

一般会計の小中学校給食費無償化および体育館のエアコン設置は評価するが、窓口民間委託、不明瞭な市の魅力発信事業や、新公会堂建設構想など、民間頼りの予算であり、賛成できない。

関口 和男

古川 一美

秋庭 繁